

創造・誇り・愛！ 輝く七中 ^{きら}煌めけ生徒！！



とちのき

〒190-0034 東京都立川市西砂町 6-28-3

TEL (042) 531-0511 FAX (042) 531-6103

立川市立立川第七中学校

校長 水越 伸朗

学校だより

第6号

令和6年10月15日



七中 HP URL

本物に触れる

校長 水越 伸朗

猛暑日が続いた夏が過ぎ、少しずつ秋の気配が感じられる季節になりました。始業式で話したように、9月から10月にかけては学校行事が続きます。9月27日は2年生が校外学習で都内に出かけました。10月7日からは3年生が2泊3日の修学旅行で奈良・京都方面に出かけました。今週17日には1年生が農業体験を行う予定になっています。どの行事も、学校の外に出て、日本の歴史や文化、自然に触れる活動になります。言ってみれば、「本物に触れる」活動となります。

相当前の話になりますが、お世話になった先生が「美術作品をはじめとした芸術品は、本物を見ることが大切なのです。」と言っていました。分かりやすく言うと、テレビやインターネットを通じた画像や、本等で見るのではなく、本物を見ることで、その作品の本来の素晴らしさを感じることができるといことです。それが、見る人に感動を与えるのだそうです。皆さんも、芸術作品に限らず、自分の趣味や興味がある物、景色やスポーツなど、実際に本物を見て、感動したことがあるのではないのでしょうか。

そういった意味では、2年生のいくつかの班が見学した博物館や美術館をはじめ、多くの観光客で賑わう浅草寺や仲見世通りに出向いたのも、「本物に触れる」ことといえるでしょう。また、3年生が、東大寺の大仏の大きさや清水寺の舞台の高さ、金閣寺のきらびやかさに感動したのも「本物に触れた」からでしょう。1年生も、実際に畑の土に触れ、種をまく作業をすることで、「本物に触れる」体験となることと思います。

私自身も5年前の夏、大相撲立川巡業に行った時、初めてまわしをつけた力士を間近で見ました。太い腕や太腿、盛り上がった筋肉など、その大きさに驚いた記憶があります。まさに「本物に触れる」体験となりました。

このように、様々な体験をして「本物に触れる」ことで、子どもたちの感性を育み、心を成長させてくれるのだと思います。これからも、いろいろな場面で「本物に触れて」心を豊かにし、内面を磨いていってほしいと思います。

合唱コンクールのお知らせ

9月25日付のご案内でお知らせしたように、合唱コンクールを開催いたします。ぜひ、子どもたちの学習の成果をご鑑賞ください。

♪ 日時 令和6年10月29日(火) 9時20分～12時25分 頃

♪ 場所 たましん RISURU ホール 大ホール

♪ その他 ・プログラムは後日配布いたします。

・保護者の方の参観席は2階席になります。ホワイエで受け付けされてから、ご参観ください